

# 地中埋設物探査



**JASCO**

株式会社 **ジャスコ**

JAPAN SKIAGRAPH CO., LTD.

# ～ 探査使用機器 ～

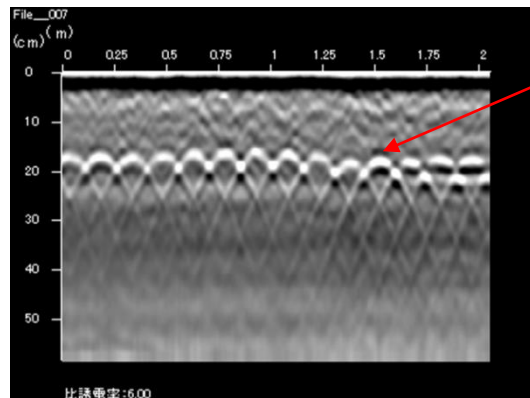
## レーダ探査器（近距離対応型）

使用機器：ストラクチャスキャン（S I R－E Z）

製 造：G S S I 社

探査対象物：コンクリート内の鉄筋・配管等

測定深度：5～400mm(鉄筋径 6mm以上：好条件下)



深度160mm 金属物

電磁波(マイクロ波)をコンクリートや地中内部に向けて送信し、電気的特性の異なる物質(鉄筋や配管、空洞)の境界面で反射し、その反射波を受信することによりコンクリートや地中内部の状態の探査を行う「近距離対応型レーダ探査器」と「中距離対応型レーダ探査器」があります。

# ～ 探査使用機器 ～

レーダ探査器（中距離対応型）

使用機器：ユーティリティスキャンDF（SIR-EZ）

製 造：GSSI社

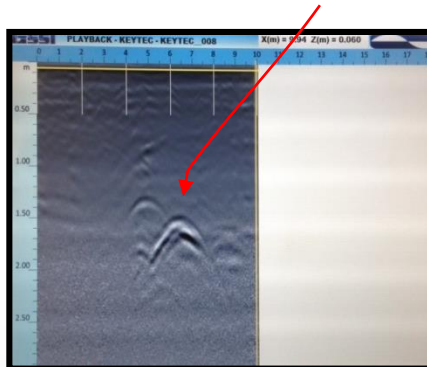
探査対象物：地中埋設管（金属・非金属・空洞）

測定深度：0.1m～1.5m程度

（土質や環境により変わります。）



埋設配管



# ～ 探査使用機器 ～

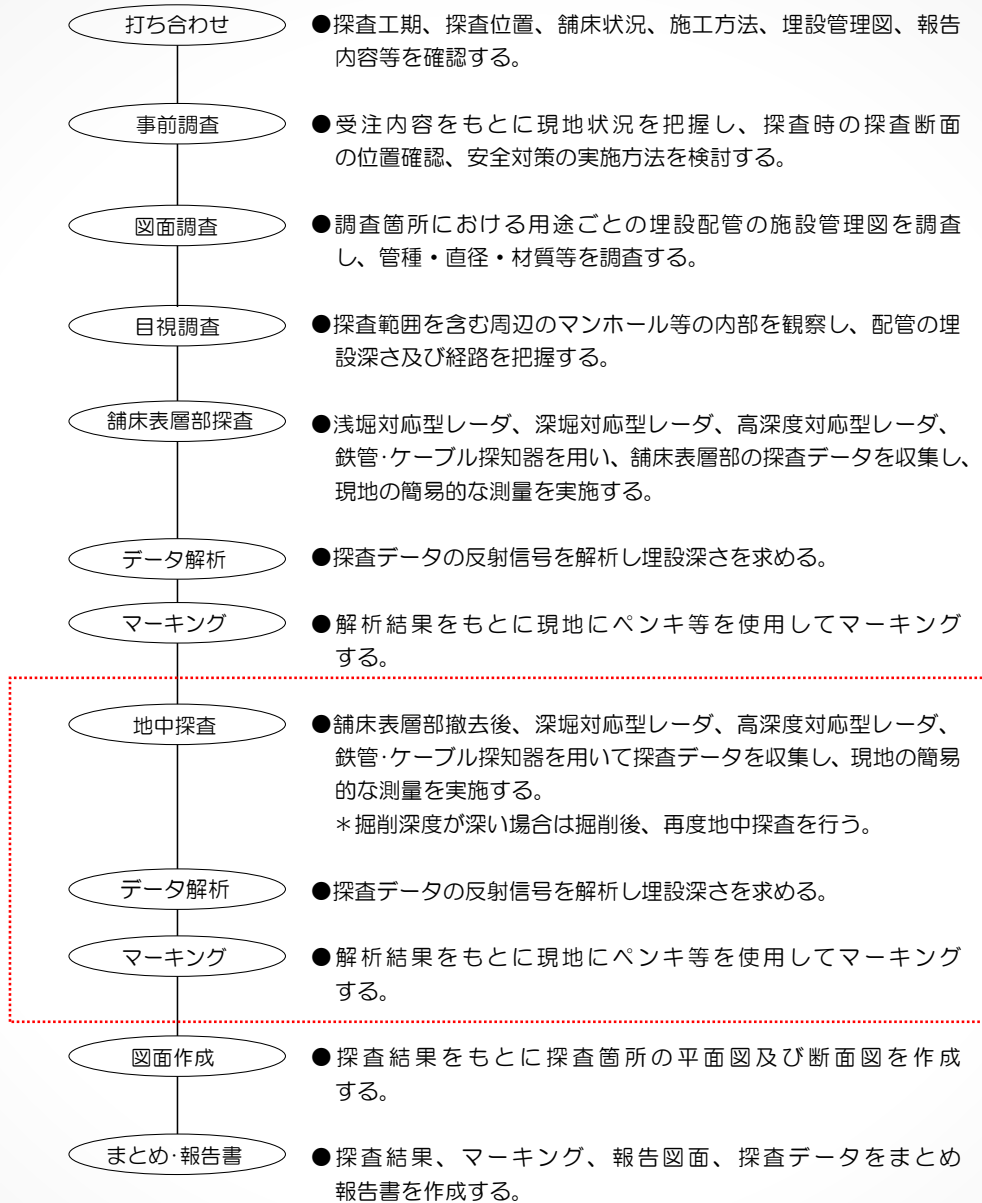
鉄管・ケーブル探知器

使用機器：PL-1000  
製 造：フジテコム株式会社



「鉄管・ケーブル探知器」による鉄管・ケーブル探知器による探査は、から、実際に開削せずに間接的に地中状況を推定する調査方法です。送信器から電磁波を発射もしくは直接接続し、金属配管・ケーブルに磁界が形成され、磁界の中を埋設金属管（線）が通ってる時、電磁誘導の原理から埋設金属管（線）に誘導電流（信号電流）が流れ、それを受信器にて信号をキャッチし埋設ルートを検出する。

# ～ 地中探査手順 ～



この部分は、2回探査の場合1回、3回探査の場合2回となる。

# ～ 地中探査深度 ～

